

甑島・周辺地域 海の安全・環境PR大使

富士みとさんと一緒に学ぼう！

～釣り中の事故を未然に防止、悪化を防ぐために～



甑島は、黒潮の恵みを受ける
ことができる

磯・海釣り・エギングの聖地
とも呼ばれているほど、釣りが
盛んな地域です！

ですが、釣りは一步間違えれ
ば命を落としかねないレ
ジャーでもあり、現在でも釣り
中の事故は後を絶ちませ
ん……

皆さんに釣りを思いっきり楽し
んでもらうために、私と一緒に
事故の防止対策や
被害の悪化を防ぐために
気を付けるべきことを見て
いきましょう！！



① 気象や海象、その時の自分の体調をしっかりと確認しましょう



海上は、陸上に比べて天気が不安定であり、最初は天気が良くても急変することがあります。

こまめに天気予報を確認し、危ないと判断した時には釣りをやめることも大切です。

多少体調が悪くても行きがちですが、外に出ると急に体調が悪くなることがあります。

また、気づかない間に汗をかき水分が抜けていくこともあるので、こまめな水分補給が大切です。



少しでも異常を感じたら

やめる勇氣

も大切ですね！



②連絡手段を確保しましょう

釣り中に、事故に遭った時や事故を見かけたとき、また困ったときの時のために、すぐにご家族や海上保安庁(118番)等の救助機関に連絡を取れる手段を確保しましょう。



釣りスポットの中には、携帯電話の電波がつかないエリアがあります。その際は、ご家族や知り合いに、釣りについての予定(時間、釣り場所等)をあらかじめ伝えておきましょう。

携帯電話には防水機能がついているものも多いですが、
限度があります。
釣り中はいつでも使用できるように、このように防水ケースに入れておきましょう！





③ 立ち入り禁止区域に入ってはいけません

港や海岸沿いには管理者によって、立ち入り禁止区域に定められていることがあります

その場所は、高波や崖からの転落の可能性がほかの場所と比べても非常に高く、安全対策をとられていない場所になりますので、必ず入らないようにしましょう。



立ち入り禁止区域には必ず看板があります！
「**天気が良いから大丈夫**」というような、勝手な判断で区域に入ってはいけません！



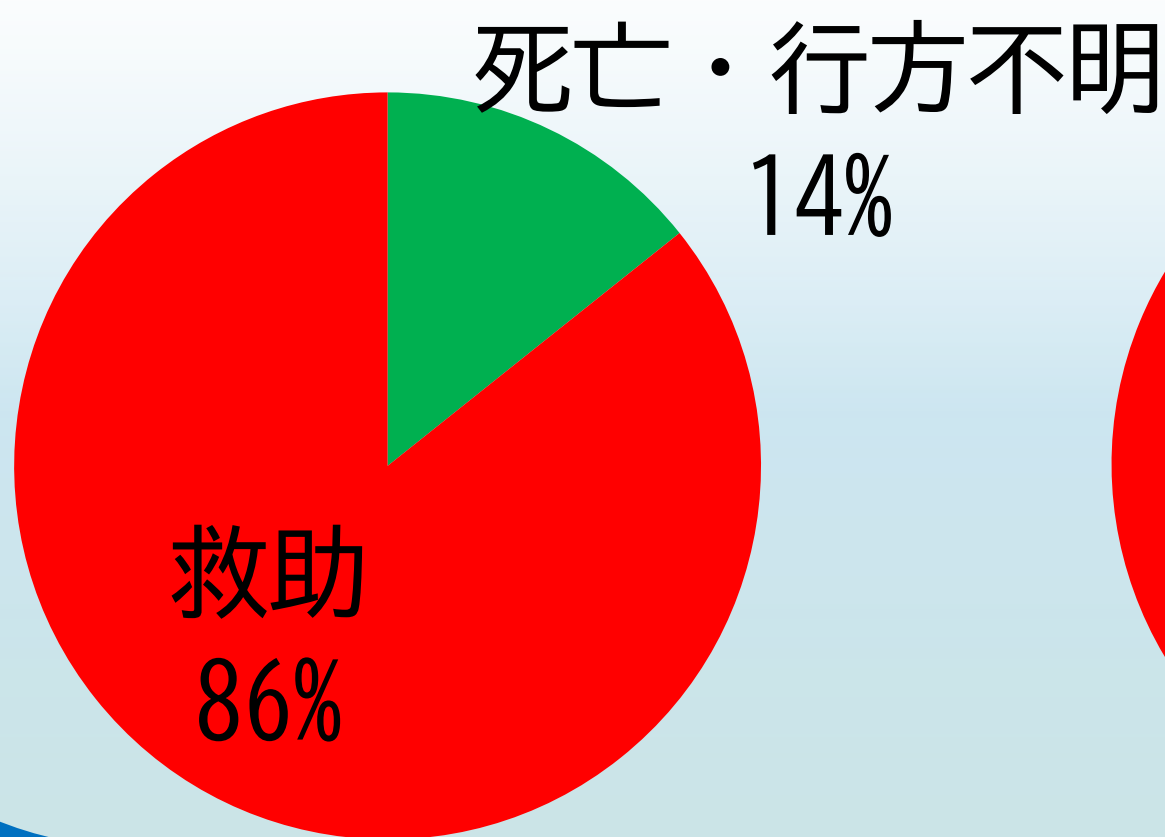


事故に遭った場合に備えて
**救命胴衣を
正しく着用しましょう**

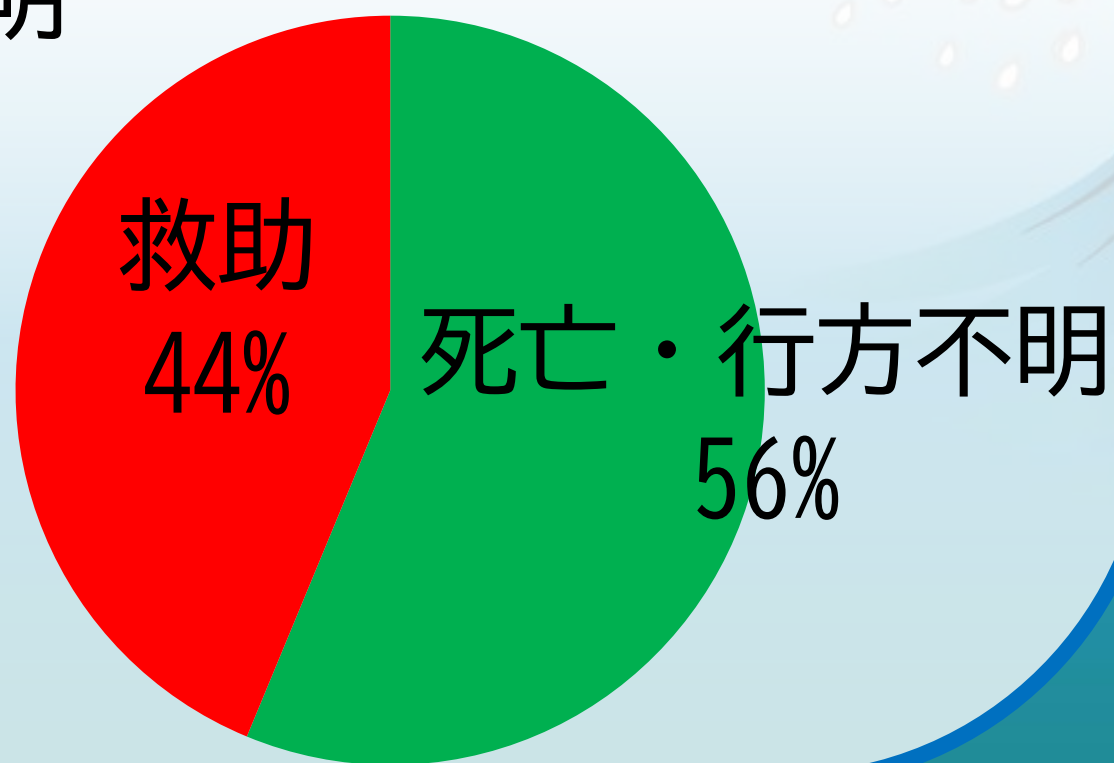
海難事故に遭ったとき、一番自らの命を助けてくれるのは救命胴衣です。下記のグラフの通り、海中転落事故のうち救命胴衣非着用時の救助率は4割であるのに対し、着用時は約9割となっております。少しでも事故を悪化させないために、救命胴衣を正しく着用することが非常に大切です。

串木野管内の釣り中の海中転落事故にかかる救命胴衣着用有無でみた救助率(H28～R7)

着用時



非着用時



必ずチェックしよう！☑

救命胴衣の着用ポイント！



□破れていない

破損している救命胴衣は、浸水して十分な浮力を得られないおそれがあります。使用前に破損がないか確認しましょう。

併せて膨張式はボンベなどの機器が壊れていないかも確認しましょう！



□体に密着させるように着用する

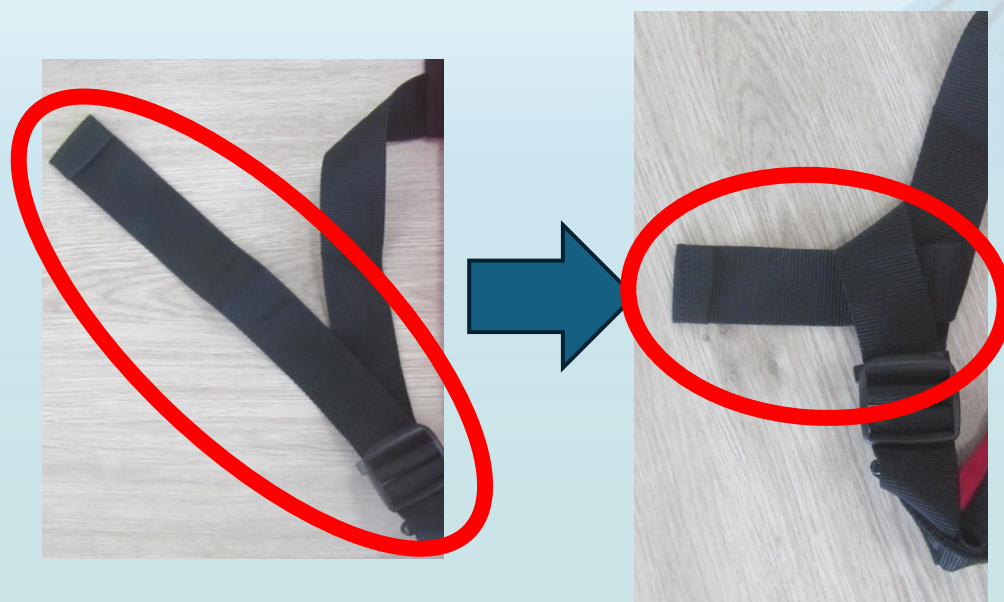
緩いまま着用すると脱げてしまいます。

身体の一部となるようにしっかりと密着させて着用するようにしましょう！



□ベルトが垂れていない

ベルトが長いと、岩場などに引っかかり、かえって危険な場合があります。長い場合は右のように他の部分に結んで、垂れないようにしましょう！





皆さん、釣り中に事故に遭わないために、悪化させないために気を付けないといけないことはわかりましたか？

今回ご紹介した内容を日頃から心がけていただくとともに、周囲の釣り人にも広めていただき、釣り中の事故防止にご協力をお願いします。

私と一緒に楽しく**海の事故ゼロ**を目指していきましょう！
以上、富士みとでした！



海の事件・事故は

118番！

最後まで読んでいただき
ありがとうございました！